

# 平成25年度

教科・科目名	国語演習Ⅱ(普通科2年 文理コース)		授業時間数/週	2時間
授業の目標	読む・書く・聞く・話すの4技能を身に付け、国語に関する能力や態度を養う。高校1年の国語の学習を踏まえ、より高度な読解力・表現力・言語力を修得させる。			
授業内容の方法	現代文、古典のテキストを使い、基礎から応用までの学力を段階的につけていく。授業は、演習形式で実施し、設問ごとに解答を考えね解説を行う。生徒の状態を見ながら、単元ごとに小テスト、関連した学習を進めていく。			
評価方法について	試験 80点 評点20点			
使用テキスト  教科書  副教材	新訂版 みるみる実力アップ 古典総合stage1 第一学習社 新訂版 みるみる実力アップ 現代文stage1 第一学習社 新国語便覧 第一学習社 新国語便覧準拠ノート 第一学習社			
年間授業計画	前期 4月 5月 現代文 評論の読み方 古典 古文読解のポイント 6月 7月 現代文 小説の読み方 古典 古文入門 検非違使忠明 9月 現代文 評論・小説基礎 古典 枕草子 土佐日記	後期 9月 10月 現代文 評論応用 小説応用 古典 漢文読解 漢文入門 句形 11月 12月 現代文 評論発展 小説発展 古典 塞翁が馬 漢詩 1月 2月 3月 現代文 評論実力問題 小説実力問題 古典 和歌 *基礎、応用、発展の教材は、生徒の興味と関連させながら、選び、学習する。		

# 平成25年度 国語演習Ⅱ 普通科2年文理コース 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
4月 配当時間 4時間	・評論の読み方 ・古文読解の手順とポイント(仮名遣い)	・評論の読み方を理解させる。 ・古文を学習する意味を伝える ・古文の読み方を確認する	・テキストの評論の読み方を使い、中学から高校の学習の流れを理解する。 ・古典の基礎事項を確認する。
5月 配当時間 5時間	・評論 1 ぜいたくの重み ・古文入門(語句の省略) ・文法基礎	・教材を通して、評論文の基礎を確認する ・口語と文語の違いを理解させる	・文章から客観性と主観性についての違いを理解する。 ・テキストを使い、平易な設問から解説し、解く。
6月 配当時間 8時間	・小説読み方 小説 4 図書館の神様 ・古文 1 今昔物語 検非違使忠明	・小説について理解を深める ・問題文としての小説のとらえ方を学ぶ ・古文と現代文の表現の違いをとらえる	・小説がフィクションであることを理解させる ・テキスト基礎問題から読み解いていく(主題確認) ・今昔物語のテキスト教材で内容を読み解く
7月 配当時間 3時間	・4月～6月までの学習事項の確認 ・上記内容を踏まえ、試験実施	・学習事項が定着しているかどうか試験にて確認する	提出物(テキスト) (授業態度) (前期試験)
9月 配当時間 5時間	・評論 3 水のリズム ・小説 6 図書館の海 ・漢文読解の手順とポイント	・評論、小説の基礎事項をふまえ、テキストで学習が定着しているか確認する。 ・中学での学習の復習と漢文読解の基礎的な手法を学ぶ	・テキストの評論、小説課題に時間を決め、取り組み、答え合わせをする ・漢文は大意をつかむことが大切であることを認識させる
後期 10月 配当時間 6時間	・両論 応用 7 健康な生健康な死 ・漢文入門 基本構造 返り点について 訓読のきまり1～3	評論文の要旨をとらえ、筆者の主張を探る ・今までの漢文学習事項をもとに、漢文の訓読のルールを学ぶ	・テキストを使い、要旨のとらえ方が適切か確認する ・テキスト 漢文入門を使い、基本的な訓読法を学ぶ

<p>11月 配当時間 6時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説 11 岸辺の駅</li> <li>古文 2 十訓抄 楊梅大納言顯雅卿</li> <li>試験実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の応用編の題材を使い、筆者の述べたいことをとらえる</li> <li>十訓抄を通して表現の面白さを知る</li> <li>学習事項定着のため、試験実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストを使い、小説基礎を理解しているか確認する</li> <li>昔の人のユーモア、皮肉などをテキストからとらえる</li> </ul> <p>提出物(テキスト) (授業態度) (後期中間試験)</p>
<p>12月 配当時間 5時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論 9 よだれ</li> <li>漢文 基本句形 否定形 疑問形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩を題材にした評論文から文脈に添って、主語を把握する</li> <li>漢文読解のため、句形を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストを使い、文脈に従って、主語を理解し、問題を読み解く</li> <li>漢文基本句形、否定形、疑問形を理解する</li> </ul>
<p>1月 配当時間 7時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論 12 北斎の顔</li> <li>漢文 基本句形 反語形 使役形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論発展編の題材を使い、書き手の意図を具体例を通して、読み取る</li> <li>漢文読解のために必要なく形を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論文における書き手の意図を具体例から探す。テキストを一文一答形式で解く</li> <li>設問から漢文の基本句形を解く</li> </ul>
<p>2月 配当時間 5時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説 16 骨の来歴</li> <li>漢文 基本句形 仮定形 限定形 抑揚形 感嘆形</li> <li>13 塞翁が馬</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説発展編の題材から登場人物の人物像をとらえ、的確な心情理解をする</li> <li>漢文読解の句形理解</li> <li>故事成語のもととなった文章からに内容を読み取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情を個別にとらえさせる。発問し、解答を導く</li> <li>漢文句形をもとにテキストの身近な教材を用い、漢文に教訓的な意味があることを認識させる</li> </ul>
<p>3月 配当時間 1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月～1月までの学習範囲を踏まえ、試験を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年を通じ、基礎から応用 応用から発展の学習が定着したか試験で確認する</li> </ul>	<p>提出物(テキスト) (授業態度) (1年間の自己評価) (後期試験)で総合的な評価をする</p>